

# ばれっと

2007  
5月

No.93

連休にサポセン図書はいかがですか？

## ■ 目次 ■

- P. 2～3 すぽっとらいと 「日本語ボランティアサークルHANDS」  
P. 4 サポセン日記  
P. 5 ミニ サポダス  
サポ本を読もう！  
サポセン広場  
P. 6 アラカルト 指定管理者2期目に向けて  
特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター  
代表理事 加藤哲夫  
P. 7 イベント紹介  
P. 8 お知らせ など



### ～ サポセン窓口風景 ～

サポセン図書の貸出中です。図書を借りたくなったらカードを持って1階受付まで。

# すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

日本語教育を通して、留学生や在日外国人への言葉の支援をしている学生グループ、「日本語ボランティアサークルHANDS」。今回は、団体の大竹美佳さん、田口恵子さん、木村芳寿さんの3名にお話を伺いました。



大竹さん、田口さん、木村さん

## ■HANDSとは？

「日本語ボランティアサークルHANDS（以下HANDS）」は、東北学院大学の有志の学生により結成された団体です。「日本語教授」という、日本語を母国語としない外国人に日本語を教える活動を通して、日本での生活支援を行なっています。

東北学院大学教養学部では、所定の講義を受けることにより、日本語教員基礎資格という認定資格がもらえます。しかし、せっかく資格の勉強をしても大学内では実践する場所がありません。そこで、日本語教育の練習もかねて、毎週火曜日の18時～20時と金曜日の19時～21時の2時間、外国人向けの日本語の講座をサポートセンターで開講しています。日本語を学びたいと思っている外国人なら誰でも受講できるので、年齢は小学生から50代までと幅広く、また国籍も多様です。

HANDSという名前には、日本語を教える学生と日本語を学びたい受講者が、お互いに手を取り合い目標を達成しようという意味が込められています。

## ■授業も全て手作り！

さて、2時間の授業内容はどんな内容なのでしょう？受講者のレベルを初級・中級・上級に分けて、授業を行っています。授業の内容は実に多彩です。文法や漢字の書き取り練習だけではなく、新聞記事やJ-popの歌詞をみんなで読んだり、中には占いの本を使い授業を行なっている人もいます。また、講義的なものだけではなく、ゲームを織り混ぜるなど工夫も行なっています。

「授業時間が2時間なので、生徒さんの集中力も続かなくなってしまう。毎回どうしたら生徒さんが飽きないか考えています」と大竹さんは話していました。

日常の中でも、常に授業が頭の片隅にあるようです。図書館に行って絵本や日本語教育の雑誌を読み、教材選びを行なうなど、熱心に授業に取り組んでいます。

また、授業を行なう上で進度表というものが欠かせません。これは、毎週1回行なわれるミーティングで生徒の進み具合や授業内容の確認をする際、必要になるものです。生徒を教える教師が常に同じではないので、進度表が講師間の引継ぎには不可欠です。HANDSでは授業の開始前と終了後に交流サロン（※）を使って進度表による引継ぎを行っています。「みんなで集まって話ができるので便利です」と話していました。

## ■「大変だからこそ、得るものが大きい」

毎回2時間の講義だけではなく、授業の準備にも時間と労力がかかるにも関わらず、みなさん熱心に活動をしています。なぜ、これほど一生懸命になれるのかお聞きすると、口を揃えて「大変だからこそ得るものが大きいです」と話していました。ほぼマンツーマンの授業のため、生徒の成長が目に見えて伸びてくるのがわかると、とても嬉しく「良かった！」と思えるそうです。田口さんは「昔、インド出身の姉妹を教えていましたが、遊びたい盛りなのに夜に来て一生懸命勉強していました。漢字を勉強したいと言っていたので毎週10個ずつ教えていましたが、先週教えた漢字が「この前、授業に出たよ」と言われたときは嬉しかったです」と、笑顔で話していました。

※交流サロンとは…

少人数の打ち合わせや事務作業などに予約なしに無料で使えるフリースペース。

## 団体紹介

### ハンズ 日本語ボランティアサークルHANDS

東北学院大学の学生有志により結成された団体。日本語教育を通して、留学生や在日外国人への日本での生活支援を行なっている。サポートセンターにて毎週火曜日と金曜日に、日本語の授業を開催している。

#### <連絡先>

E-mail : wish.roam.child@hotmail.co.jp



### ■活動を継続していくコツは？

HANDSは大学のサークルのため、メンバーは毎年入れ替わります。大学3年生の12月にサークルを引き継ぎますが、結成から今まで一度も途切れることなく活動が続いています。メンバーが入れ替わるにも関わらず、活動が続くコツのようなものはあるのでしょうか？

12月に会議を開催し、その場で全員に引き継ぎを行ないます。その後、各担当者は前任の担当者から、具体的な仕事内容を聞くようにして引き継ぎをしているそうです。しかし、「仕事の引き継ぎだけではなく、気持ちも引き継がれているから活動が続いていると思います」と木村さんは話していました。人が替わったとしても、気持ちが同じだから同じ活動が続けられる。真剣に日本語教育をしたい人だけが残るから、その頑張る姿を見て自分も頑張ろうという気持ちになるそうです。



～活動の様子～

先輩からは団体の運営方法だけではなく、教授法を教わる勉強会も毎年開催されています。メンバーが入れ替わり新体制になった時に、先輩から授業をする際のポイント等を説明してもらいます。毎年その勉強会を開催し、次の世代にHANDSの気持ちも引き継いでいきます。教える心構えを教わり、同じスタートラインで活動を始める。それが、活動を継続していくコツなのかもしれません。

### ■団体の目標

順調に活動をしているように見えますが、活動するメンバーが少ないのは悩みのようです。現在、メンバーは14名。一方、受講者は18名。そのため、火曜日と金曜日の授業を掛け持ちで行っている人もいます。教師の数が足りず受講待ちの人もいます。

もっと多くの人にHANDSを知ってもらおうと、今年3月に国際センターで開催された「地球市民講座2007」に参加する予定でしたが、準備期間が短く参加できなかったという苦い経験があります。大竹さんは「イベントに参加できるような組織になりたい。大規模ではなく、ある程度のスタッフを確保できるくらいの体制になりたい」と、目標を語ってくれました。将来、大学内だけではなく、他大学の学生もサークルに入ってもらえるような、外に開いた運営をしていきたいという想いもあるようです。

4月後半、団体に新メンバーが入り、新しい体制でのスタートです。どのような活動を行なっていくのか、4月からのHANDSの活動に注目です。

(担当：内川奈津子)

◆サポセンのサービスいろいろ。  
どんなふうに使えるのか紹介します！

# サポセン日記

今月のテーマ

～ 交流サロン ～

市民活動団体に  
集まる場を提供している「交流サロン」

## ●交流サロンってどんなところ？

交流サロンは、ボランティアや市民活動・NPOに関する内容の少人数の打ち合せ・作業などにご利用いただけるフリースペースです。3階、5階、7階の3ヶ所にあります。一番広い5階の交流サロンを例にとると、テーブルが9つ、それらのテーブルの周りに椅子が4～5脚置いてあります。予約なしで利用できますが、ご利用になる場合は1階事務局で受付をし、利用票を受け取ってください。利用が終わったら、利用票に記入して、お帰りの際に窓口スタッフへ渡してくださいね。

さらに、5階の交流サロンには、イベントなどの告知ができるポスターの掲示コーナーや団体の活動紹介などができる展示スペース、貸し出しロッカー（有料）があります。また、持ち込みパソコンによるインターネット接続コーナーもあり、パソコンとLANケーブルを持ってきて1階事務局で申し込みをすれば、1時間単位で無料で使用することができます。

打ち合せや作業の合間に一息つきたい…そんな時には茶器類を借りると便利です。1階の受付で茶わん・電気ポット・急須・ふきんなどを無料で貸出していますので、ぜひご利用ください。（お茶の葉は持ってきてくださいね）



交流サロンで打ち合せをしている  
「仙台文の會」のみなさん

## 使っていた人に突撃インタビュー！

—— 4月3日に5階交流サロンで活動していた「宮城県武術太極拳連盟」の鹿島さんにお話を伺いました。

**スタッフ** サポセンの交流サロンを利用して何年になりますか？

**鹿島さん** サポセンができた年から利用していますから、もう8年目になりますね。新しいサポセンの雰囲気にもだいぶ慣れましたよ。

**スタッフ** どんな時に交流サロンを使用していますか？

**鹿島さん** 主に事務作業をする時ですね。私たちの団体ではロッカーを借りていて、そこに作業に必要な文具や書類を保管します。サポセンを知るまでは、文具から書類まですべて持ち運びしていたので「動く事務室」と呼ばれていたくらいでした。収納と作業が1ヶ所で済むので、とても助かっています。

**スタッフ** 交流サロンを一言で言うと？

**鹿島さん** 「メンバーの中継所」といったところでしょうか。仕事をしている人が多いのでなかなか集まるのが難しいんですが、サポセンは夜10時までやっているのので仕事の後に集まることができます。また、若い人たちのグループも同じスペースで活動していますから、老若男女が集うスペースです。

—— サポセンで毎日大忙しな鹿島さんでした。  
（担当：千葉やす恵）

# ミニサポダス

◆サポセンの利用状況を毎月テーマを変えてお知らせします！

## ■NPOの基礎から実践まで、学びたいならサポ本を！

サポセンにはNPOに関する図書がたくさんあるのをご存知ですか？今回は平成18年度（2006年4月から2007年3月）の貸出図書にスポットをあてて、利用状況をご報告します。

### ●月別貸出し状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
登録者数	7	1	5	0	0	7	8	4	7	2	7	1	49	4.9
貸出件数	21	19	20	0	0	21	20	18	23	20	25	10	197	19.7
貸出冊数	28	28	30	0	0	36	31	25	38	33	38	15	302	30.2

※1…7, 8月は移転のため貸出を行わなかった。  
 ※2…月平均は7, 8月を除いて集計している。

### ●分野別 貸出し件数トップ10

1位	市民活動・NPO全般	56冊
2位	ハウツー	41冊
3位	まちづくり	33冊
4位	行政とNPO/政策提言	29冊
5位	会計・マネジメント	24冊
6位	企業とNPO/フィランソロピー	17冊
7位	ジェンダー・人権	14冊
7位	子ども・教育	14冊
7位	芸術・文化	14冊
10位	福祉・医療	13冊
10位	環境	13冊

上の表でわかるように、1年間で302冊、月に平均で30冊の本が借りられています。どのような図書が借りられているか見てみると、最も多いのが「市民活動・NPO全般」で56冊。続いて「ハウツー」が41冊でした。合計すると97冊で、1年間の貸出図書のうち約3分の1がこの上位2つの分類の図書である事がわかります。サポセンだけあって、NPOに関する知識や、実際に活動する上で役立つノウハウを知る本が人気のようです。

(担当：本田ふみ、小林正夫)



フェスティバル・ライブ  
 僕がみた日本の野外フェス  
 10年のすべて  
 著者：南兵衛@鈴木幸一  
 発行：マーブルトロン  
 定価：1,600円（税抜）

遊園地のような、あらかじめ用意されたものとは違い、一人一人がやりたいように参加できる自由さがそこにあります。新たな活動の場としてフェスティバルを考えてみませんか。

担当 高橋陽佑

## サポ本を読もう！

◆サポセンの図書コーナーの本を紹介します。

毎年、全国各地で開催されているフェスティバルは、数千人から数十万人が参加するものまで多種多様です。NPOもその様なフェスティバルに参加しはじめられています。この本を読むと、はじめはゴミ分別だけだったNPOのフェスティバルへの関わり方が、団体の情報発信のブースが出来るなど、多様化していくのが分かります。現在では環境への配慮を開催趣旨の根底に置いたフェスティバルも開かれるようになっていきます。野外ライブで音楽を聴くだけでなく、もっと主体的に関わろうとする人々が増えているのです。

# サポセン広場

◆利用者の皆様から寄せられた声にお応えします。

1階でも展示があるとにぎやかでいいですね

サポートセンターには5階に展示スペースがあり、団体の活動のPRにお使いいただけます。また、1階では昨年12月より障がい者によるアートや創作活動に取り組む市民活動などから創作された作品の展示を行っています。

現在は「美楽（びがく）アートクラブ」と「アートプラネッツみやぎ」（いずれも代表：小島まことさん）の協力で、知的障がい者入所施設内の「あとろえぼてとはうす」で描かれた絵画を展示中です。5月末までの展示予定ですので、ぜひご覧ください。

# アラカルト

◆市民活動の旬の話題やサポセンで開催された講座の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

## 指定管理者 2 期目に向けて

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター  
代表理事 加藤哲夫

### ■この4月から3年間、 再び指定管理者として運営します。

仙台市市民活動サポートセンターは、1999年6月30日に開館しました。まもなく丸8年になります。企画コンペで管理・運営団体を公募し、せんだい・みやぎNPOセンターが選定されました。全国でも初めての単独NPOへの市民活動支援施設委託と注目され、視察が相次ぎました。途中、2004年4月からは指定管理者制度が導入され、昨年9月には住み慣れた本町家具の街を後にして、現在の場所に引越しをしました。その引越しで大わらわの昨年9月に指定管理者の公募が行われ、再びせんだい・みやぎNPOセンターが指定管理者に選定されました。

2007年4月1日から2010年3月までの3年間、あらためてサポートセンターの管理・運営を担うことになりましたので、あらたな管理・運営のスタートにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

### ■サポートセンターと せんだい・みやぎNPOセンターのちがいを

サポートセンター（一番町）とせんだい・みやぎNPOセンターはよく同一のものかと誤解されます。サポートセンターはその名の通り、仙台市が市民協働を進める拠点として、市民活動を支援するために設置した専門の公共施設です。その指定管理者でもあるせんだい・みやぎNPOセンターは、1997年設立の市民活動を支援するNPO、つまり民間の非営利組織です。事務所もサポートセンターとは別の場所（大町）にあります。

また、せんだい・みやぎNPOセンターでは、サポートセンターの管理・運営において、ニューズレターやパンフレット等にも当団体のことをあまりアピールせず、どちらかといえば黒子的な立場で取り組んできたということも、姿が見えにくい理由かもしれません。

サポートセンターは、年間4万人以上、幅広い市民活動団体や個人が利用する大型の専門施設です。5,000以上の団体の情報が収集された「団体情報ファイル」や市内主要公共施設へのイベントチ

ラシ配架システム「骨プロ」など、全国的にも評価されている独自の支援機能を用意し、市民活動をしている人たちのみならず、市民活動団体を探している人たちや何か行動したいと考えている人たちに役に立つ情報と場所や交流、研修機会の提供を行っています。

一方、せんだい・みやぎNPOセンターは、民間の支援組織として、「サポート資源提供システム」と「みんなファンド」という企業・団体の皆様との協働の取り組みによって、年間1千万円ほどの什器備品、中古パソコン、助成金の提供を毎年行っています。またNPOの信用創造のために「NPO情報ライブラリー」という情報公開拠点およびWebサイトも運営しています。米国には、100万団体のNPOの会計情報がインターネットで公開されているガイドスターというサイトがありますが、会計情報まで含めた情報公開サイトは、日本ではこの仕組みがほとんど唯一のものです。その他、さまざまな政策提言や経営支援、セミナー等を民間のNPO支援組織として行っています。

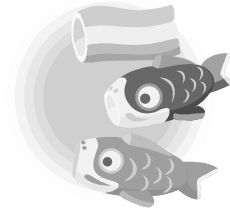
### ■市民活動の促進を皆さんと一緒に

これからの3年間、私たちは仙台市市民活動サポートセンターの指定管理者として、移転した新しい施設のより使いやすい運営に努め、お役に立つサポセンとして皆様に利用いただけるように一層の努力をする所存です。同時に、利用されている市民活動団体の皆様がより力強く、より地域に根付いた効果的な活動を展開されるように、行政、企業、市民との協働のコーディネートをしていきたいと思っております。

そのためにも、施設利用だけではなく、市民組織であるせんだい・みやぎNPOセンターの仕事もあわせてご理解いただきながら、仙台市の市民活動の活性化、コミュニティの課題解決に、皆さんと一緒に力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。

# イベント 紹介 5月

- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。ご希望の方はお問い合わせください。



開催日	時間	イベントタイトル	貸室	参加費	主催	問い合わせ先
5/10～ (全6回)	18:30 ～ 21:00	リンパの流れをスムーズにする フットケアを学んでみよう	研修室 3	37,000円 (全6回・教材・ 認証申請料・テキ スト代含む) (事前申込必要)	JRFA足市場 (JRFA 公認講師 森 照恵)	TEL&FAX 022-223-9023 携帯 090-7564-9831 (森)
5/10・ 5/19	13:20 ～ 16:30	シニア元気笑学校 5/10(木) 修身・保健・交流 5/19(土) 国語・音楽・交流	セミナー ホール	1,000円 (事前申込必要)	シニア元気笑 学校	TEL 022-248-3765 FAX 022-248-3775 (渡辺源治) ※ 申込はFAXで
5/11	10:00 ～ 12:00	コミュニケーションの心理学/ 女性のための交流分析講座	研修室 2	1,500円 (事前申込必要)	NPO法人 仙台交流分析 協会	TEL&FAX 022-392-8442 (藤本)
5/12	15:00 ～ 19:00	悪質リフォームに だまされない!! 専門家による無料相談会	研修室 2	無料 (事前申込必要)	悪質リフォー ムかけこみ寺	TEL&FAX 022-232-6331 (芋沢)
5/13	10:30 ～ 12:00	医療現場における バッチフラワーレメディ	セミナー ホール	前売り2,000円 当日 2,500円 (事前申込必要)	バッチネット ワーク・東北	TEL&FAX 022-378-0832 (村上) http:// www.asakaze.net/ bnt/
5/22	19:00 ～ 21:00	5月のセナードサロン 価値を生み出す NPOのマーケティング	研修室 5	1,000円 (事前申込必要)	(特活) せんだい・ みやぎNPO センター	TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209 (伊藤、高橋)
5/27	13:30 ～ 16:00	地域での生活を可能とする 賃金の確保について	セミナー ホール	800円 (事前申込不要)	NPO法人 共同連・きよ うされん宮城 支部	TEL&FAX 022-299-1279 コッペ内 (飯嶋)



# お知らせ



## ■展示スペースで活動をPRできます！

展示スペースは、サポセンの中で最も人が行き交う5階の交流サロン内にあります。

団体のPRはもちろん、活動の様子を写真や作品を通して伝えたり、展示を見る人に問いかけたり…と、さまざまな方法で情報発信することができます。

縦120cm、横90cmのパネルが8枚。使い方はあなた次第！

このスペースを上手に活用して、多くの人にメッセージを発信してみませんか。

貸出期間は1ヶ月の前半・後半（月によって異なりますのでお問い合わせください）、申し込みは展示開始日の6ヶ月前より1階の窓口にて受付しています。詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせください。

（担当：千葉やす恵）

## 編集後記

環境が変化するのは春先によくあることですよね。ぱれっとの場合、先月はリニューアルでしたが、今月はこの5月号から編集体制が変わりました。新しく本田と千葉の2名で、より良い誌面作りを目指し、楽しみながら編集をしていきたいと思います。  
（本田ふみ）

今月から編集班に加わりました。ぱれっとを手にとってくれた人たちに、サポセンの活気が伝わるような読み物にしたいと思っています。利用者みなさんの生の声をお届けしますので、お楽しみに！  
（千葉やす恵）

## 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

● 開館時間 平日／午前9時～午後10時  
日曜・祝日／午前9時～午後6時

● 休館日のお知らせ（施設点検等のため）  
**4/25(水) 5/30(水)**

## サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸室  
（研修室・セミナーホール・市民活動シアター／有料）  
打合わせ、講演会、シンポジウム等で使えます。
- ロッカー（有料）レターケース（無料）事務用ブース（有料）
- 交流サロン  
少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース（無料）  
チラシ・ポスターの掲示、展示スペース  
インターネット接続スペース（要申込／無料）
- 情報サロン  
市民活動団体に関するさまざまな情報があります。  
市民活動相談の受付や図書の見学・貸出も行っています。  
市民活動に関する情報収集用インターネット閲覧（無料）
- 印刷作業室  
印刷機（紙持ち込み／1製版100円、紙折り機（無料）  
コピー機（1枚10円）

## ■ 問い合わせ先 ■

発行：仙台市市民活動サポートセンター  
（指定管理者：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター）

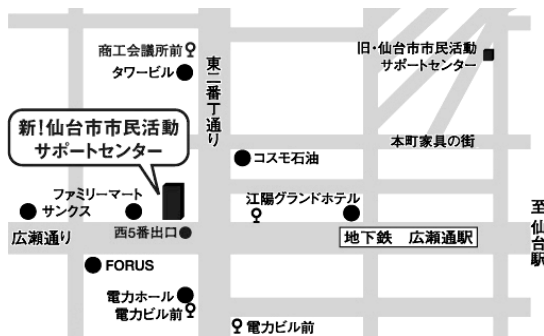
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042  
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2007年4月23日  
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター  
編集人：本田ふみ 千葉やす恵

- ★古紙100%使用再生紙を使用しています。
- ★大豆油インキを使用しています。



## ■ 案内図 ■



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。  
[バス] 商工会議所前下車徒歩3分  
[地下鉄] 広瀬通駅西5番出口すぐ  
□当施設に駐車場・駐輪場はございません。  
お車や自転車で来館される方は、  
周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。  
注) 路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。